

平成29年度 学校自己評価表

計画段階・実施段階

91

福岡県立鞍手高等学校長 印
(定時制課程)

学校運営計画(4月)				
学校運営方針	基礎的・基本的な学習を徹底し鍛え、一人ひとりの評価を充実させ学習意欲を高めることで、確かな学力の育成を図る。 より深い生徒理解に努めるとともに、健康・安全の指導を充実させる。 個に応じた進路指導を行い、希望進路実現に対する意識の高揚を図る。			
昨年度の成果と課題	本年度重点目標	具体的目標	評価(3月)	
生徒と教師の信頼関係に基づく取り組みにより、授業規律の確立と問題行動の防止等の面で着実に成果が表れている。今年度はさらに、基礎学力の定着、生徒会主体の学校行事の実施、より細やかな生徒指導、生徒の自主的な進路選択の支援を柱に、活力ある学校づくりを推進する。	確かな学力の育成を行う。	授業改善を図り、生徒が自ら学ぼうとする授業を目指す。		
	円滑な進級・卒業と特別活動の充実を図る。	出席不振者や成績不振者の指導・改善に努める。		
	より深く生徒を理解し、生徒相互、生徒・職員間のよりよい信頼関係をつくる。	日常的に生徒に関する情報や意見の交換を行い、共通理解のもと、全職員で指導を行う		
	生徒の心身の健康状態の把握に努める。	個人面談や学校生活アンケートをもとに、生徒の生活状況を把握し、健康な学校生活が送れるよう支援する。		
	生徒の自主的な進路選択を支援する。	早期に進路希望を把握し、その実現に向けた支援を行う。		
	生徒一人ひとりを大切に、人権が尊重される環境づくりに取り組む。	学期ごとに全職員で個人面談を行い、生徒一人ひとりの把握に努める。		
評価項目	具体的目標	具体的方策	評価(3月)	次年度の主な課題
教 務	確かな学力の育成	授業改善を図り魅力ある授業を行い、授業への意欲を喚起する。 提出物などで理解度や学習状況を把握する。 皆勤・精勤の表彰を年3回行い、出席状況の改善を目指す。		
	円滑な進級・卒業と特別活動の充実	出席不振者や成績不振者の指導・改善に努める。 総合的な学習の時間やホームルーム活動を通して興味・関心を引き出す。 家庭や事業所等との連絡を密にする。		
生徒指導	規範意識の向上や自己の責任を果たせるよう指導し、充実した学校生活を送る。	教師が率先して挨拶の模範を示し、自ら挨拶のできる生徒を育成する。 情報端末機の不適切な使用に対して、指導の徹底を図る。 個々の役割と責任について自覚させ、集団生活の向上に努めさせる。		
	教師と生徒及び生徒相互の信頼関係を築く。	個人面談や学校生活アンケート等により、細かな生徒把握に努める。 学校行事等、異学年で交流する機会を設けて良好な人間関係を構築する。		
	自他の健康・安全についての理解を深めさせる。	規範意識育成講演会を実施し、健康・安全に留意させ、自他の生命を尊重する態度を育てる。		
進路指導	生徒の自主的な進路選択を支援する。	自らの能力や適性を自覚させるためにも、在学中の就業の促進を図る。 企業人等による進路講話を実施し、生徒の進路選択を支援する。 進路ガイダンスを実施し、自らの進路を考えさせる。		
	生徒への細やかな進路情報の提供に努める。	ハローワークとの連携を深め、進路情報の収集に努める。 進路ガイダンスを実施し、生徒の進路選択を支援する。		
保 健	心身の健康の保持増進を図る。	定期健康診断の意義を周知し、全員受診を目指す。 相談しやすい環境を整え、健康相談を行う。		
	給食マナーの向上を目指す。環境整備と美化に努める。	給食献立の工夫をし、残食減を目指す。挨拶の徹底をする。 換気、採光、照明等を整え、学習に適した環境を作る。		
部 活 動	自主的、自発的に行動する態度や責任感を養うと共に、健康・体力増進や運動技術の向上を図る。	組織の中で周囲と協力・連携し、コミュニケーション能力を身につけることで、個性を伸ばし、責任感を養わせる。		
		個にあった指導を行い、運動技術の向上と体力の強化を図る。		
		目標設定を行い、日々の練習を充実させ、大会等で成果を発揮させる。		
人権・同和教育担当	人権についての正しい知識と認識を深め、人権を尊重する技能や態度を育成する。	人権・同和教育授業の充実を図るとともに、生徒に実践させる機会を意図的に設ける。		
		人権・同和教育に関する研修会に積極的に参加する。		
		事例研究会の充実を図り生徒を深く理解する。 事務室と連携し生徒の経済的支援状況を把握する。 保護者と連携を図り生徒の進路保障に努める。		